

御歳暮承ります



及善蒲鉾店ではお歳暮の注文を承っております。今年も年末年始のお料理を彩る「おせちセット」を販売いたします。板蒲鉾、かすてら蒲鉾、なると巻紅白のセットです。こちらはご予約商品となります。

とっており、12月20日以降の発送となります。また、新商品の炙り笹6枚と、当店自慢のリアスの秘伝6枚が楽しめる「秘伝・炙り笹セット」の販売も開始しました。お電話、ファックスはも

ちろん、及善蒲鉾店のホームページからもご注文いただけます。ご進物に、年末お正月用に、ぜひご利用ください。

秘伝・炙り笹セット 2,800円(税込) おせちセット 2,970円(税込)

インターネットでもご注文承ります



おいぜんかまぼこ

検索

新聞 及善蒲鉾店

11月15日(火)

【発行】株式会社 及善商店
【編集】及川善弥・沼倉忠彦

及善新聞 12月号は お休みいたします。

11月催事予定

◆南三陸福興市in仙台
11月24日
仙台市当台公園市民広場
10時～15時
◆ルミネ川越店頭催事
11月29日～12月5日
JR川越駅改札前
10時～20時(最終日17時)

今月の福興市

11月27日(日)
南三陸町志津川旧仮設魚市場特設会場
9時～14時
鮭・いくら まつり福興市
鮭といくらのキラキラ丼



12月催事予定

◆三陸のもののマルシェ上野駅
12月15日～17日
JR上野駅グランドコンコース特設会場
11時～20時(最終日17時)
◆藤崎2016大歳の市
12月26日～31日
藤崎百貨店マールビル
トおまちアーケード内
26日 10時～19時30分
29日 9時～19時30分
31日 9時～15時
◆仙台駅 年末物産市
12月26日～31日
仙台駅2階ステンドグラス前特設会場
26日 10時～21時
31日 10時～18時
◆南三陸おすばでまつり福興市2016
12月29日 木曜日
南三陸町志津川旧仮設魚市場特設会場
8時30分～13時30分



会社イベントで笹かま振舞い

神奈川で注文住宅を手掛ける工藤建設株式会社が、ホームオーナー様感謝祭が行われました。工藤英司社長自ら及善の法被に袖を通し、1200本の笹かまぼこ炙り焼きをお客様に振る舞われ、工藤社長、従業員皆さまありがとうございました。

今月のお魚 吉次(きちじ)



宮城県では吉次と呼ばれる、小骨が少ないのが特徴。蒲鉾の原料としても有名で、吉次をふんだんに使用した笹かまぼこリアスの秘伝は、及善蒲鉾店の看板商品となっている。

冬が旬で脂がよく乗っている為、焼魚・鍋・煮魚にすると特に美味である。白身でクセがなく、あらゆる料理に活用でき、身は軟らか



リアスの秘伝



完成イメージ図 ※南三陸まちづくり未来HPより

さんさん商店街移転

「サンサンと輝く太陽のように、笑顔とパワーに満ちた南三陸の商店街にしたい」という思いのもと、2012年2月に仮設商店街としてオープンしたさんさん商店街。2017年3月に本設オープン予定となります。▼木造6棟が並び、フードコートやイベントなどの開催が可能な多目的スペースを有し、仮設商店街の雰囲気を残した業いたします。

2日～11月4日まで営業(元旦のみ店休)

おすばでまつり福興市開催

「おすばで」は、三陸沿岸で「つまみ、酒の肴」の意味。特産品の伊達巻、なると巻、かたコやサケ、アワビなど、志津川湾でとれる新鮮な魚介類を中心、町内30店ほどが集まり正月料理用の食材や飾り物販売する一大イベント。物販の他にも鮭汁や鱈汁など体を温める飲食店も出店

12月29日木曜日
8時30分～13時30分
南三陸町志津川旧仮設魚市場特設会場
お問い合わせ 及善 福興市実行委員会

ひとこと

気が付けば暑さもなくなり、わが町では明け方に霜が降りるようになり、早いもので今年も残すところあと2か月を切った。今年一年を振り返り、ひとことと表すと、「胎動」であった震災から5年を向かえ、これからの生活、仕事、それらの環境をつくるための準備の年となった。▼南三陸町はここ5年間で人口は約3割減、地元への来客数はピーク時の約6割となつてしま、各商店の商いもそれに伴う結果となつている。このままでは存続できない。そんな声が増えてきている。しかし、数字では見えないが、ちらほらと未来の種が目をし始めています。その一例が、震災後に南三陸を訪れ、この町に魅了され、その後移り住んでいる人たちだ。決して多くはないが、なぜか若者が多い。彼らには先住者とは明らかに違うものとの見え方と行動力がある。そしてこの町を思う気持ちがかたく強い。▼今は大変だけれど、あと5年後、この町はこういった新しい芽のもと色々な可能性を持つ、さらに魅力がある街になる。私はそう信じている。そのためには、単独で突っ走るのではなく、すべての町民が手をつなぎ南三陸町というこれからの生きざまを発信していくことが大切だ。恵まれた資源、伝統、人々の得意な分野。これを生かしたモノづくりを意識して年末を迎えたい。

及川 善弥

